

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年 5 月24日（火）
- 2 時 間 開会 午後 7 時～ 閉会 午後 8 時39分
- 3 場 所 教育プラザ富樫 121研修室
- 4 参加人数 13名
- 5 出席議員 福田太郎議長、野本正人副議長、
高 誠総務常任委員長、
中川俊一総務常任副委員長、
大桑初枝総務常任委員、山本由起子総務常任委員、
久保洋子総務常任委員、松井純一総務常任委員、
黒沢和規総務常任委員、玉野 道総務常任委員、
長坂星児経済環境常任委員長、
源野和清市民福祉常任委員長、
麦田 徹建設企業常任委員長、
喜多浩一文教消防常任委員長、
清水邦彦議会運営委員長
（オブザーバー議員）
上田雅大議員、小間井大祐議員、坂本泰広議員、
松井 隆議員、熊野盛夫議員、前 誠一議員、
下沢広伸議員、高岩勝人議員、秋島 太議員、
角野恵美子議員、宮崎雅人議員、森尾嘉昭議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

中川俊一総務常任副委員長の進行のもと、福田太郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った。次に、大桑初枝総務常任委員から平成27年度金沢市議会3月定例会議会報告を行った。高誠総務常任委員長に進行をかわり、山本由起子総務常任委員から意見交換会テーマ報告として「新年度予算について」と「連携中枢都市圏について」の報告を行った後、市民とテーマに関する意見交換を行った。中川俊一総務常任副委員長の進行に戻り、野本正人副議長の閉会挨拶で閉会した。

1. 開 会

【中川俊一総務常任副委員長】

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます、総務常任委員会副委員長の中川俊一でございます。よろしくお願いいたします。

2. 開会挨拶

【中川俊一総務常任副委員長】

開会に当たりまして金沢市議会、福田太郎議長から皆様方に御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

【福田太郎議長】

本日は、お忙しい中、また7時という難しい時間に皆さんにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この意見交換会ですが、平成26年度より、議会改革の一環として開かれた議会を目指して実施しているもので、今回が今年度最初の開催となります。

さて、本日の意見交換会のテーマは、「新年度予算について」と「連携中枢都市圏について」であります。少子高齢化、人口減少が進む中、各自治体ではその対策に向けてさまざまな施策を打ち出しております。さらに加えて、金沢市が連携中枢都市となっており、石川中央都市圏は周辺の白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の4市2町が連携して充実した市民生活を持続可能とさせることを目指して取り組んでいます。

本日は、お越しいただきました皆様から、忌憚のない御意見をいただき、議会での議論の参考にさせていただきたいと思っております。活発で建設的な意見交換ができれば幸いです。

本日は御苦勞様です。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

【中川俊一総務常任副委員長】

議長、ありがとうございました。

3. 出席者の紹介

【中川俊一総務常任副委員長】

それではここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

先ほどご挨拶をいたしました福田太郎議長でございます。

【福田太郎議長】

皆さん、こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

野本 正人 副議長でございます。

【野本正人副議長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している総務常任委員会の委員を紹介いたします。

高誠委員長。

【高誠総務常任委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

玉野道委員。

【玉野道総務常任委員】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

黒沢和規委員。

【黒沢和規総務常任委員】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

松井純一委員。

【松井純一総務常任委員】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

久保洋子委員。

【久保洋子総務常任委員】

皆さん、こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

山本由起子委員。

【山本由起子総務常任委員】

よろしく申し上げます。

【中川俊一総務常任副委員長】

大桑初枝委員。

【大桑初枝総務常任委員】

よろしくをお願いします。

【中川俊一総務常任副委員長】

次に、金沢市議会には総務常任委員会を初め5つの常任委員会と議会運営をつかさどる委員会として議会運営委員会がありますが、各委員会の委員長も出席いたしておりますので、あわせて紹介をさせていただきます。

経済環境常任委員長であります長坂星児議員です。

【長坂星児経済環境常任委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

市民福祉常任委員長であります源野和清議員です。

【源野和清経済環境常任委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

建設企業常任委員長であります麦田徹議員です。

【麦田徹建設企業常任委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

文教消防常任委員長であります喜多浩一議員です。

【喜多浩一文教消防常任委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

議会運営委員長であります清水邦彦議員です。

【清水邦彦議会運営委員長】

こんばんは。

【中川俊一総務常任副委員長】

また、今ほど御紹介をいたしました正副議長、総務常任委員会の委員及び各委員会委員長以外の市議会議員についてはオブザーバーとして参加いたしておりますことを御報告させていただきます。

【中川俊一総務常任副委員長】

次に、きょうの意見交換会について、簡単に説明いたします。

まず、この意見交換の場は、金沢市議会が主催するものであり、金沢市の執行部が行っている、あるいはこれから行う事業の説明をしたり、解説をする場ではないことを、御承知ください。

きょう、御参加されている市民の代表として議会に出ている議員とみなさまの意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けようとするもので、平成26年度か

ら実施しているものです。

ただ、お時間が限られていますので、回ごとにテーマを設けさせていただき、意見交換を実施しています。

今回は、今年度初めての意見交換会ということもあり、金沢市の新年度予算と、連携中枢都市圏をテーマに要望や意見の聞き取りをしたいと考えています。

受付で配布いたしました資料のうち、「意見交換会」という表題の資料を御覧下さい。こちらに次第を記しております。

次第の第4になります。この後、議会報告といたしまして、この意見交換会の前に行われました3月定例会議会の概要を10分程度させていただきます。

その後、次第の5、本日のテーマであります「新年度予算」と「連携中枢都市圏」について20分程度御説明しました後、皆様から御意見をいただきたいと考えております。

4. 議会からの報告

・平成27年度金沢市議会3月定例会議会報告

【中川俊一総務常任副委員長】

それでは、報告に移ります。平成27年度金沢市議会3月定例会議会につきまして御報告いたします。報告者は、総務常任委員会の大桑初枝委員です。よろしくお願いいたします。

[大桑初枝総務常任委員が平成27年度金沢市議会3月定例会議会報告について別紙のとおり説明]

【中川俊一総務常任副委員長】

大桑委員、ありがとうございました。

5. テーマに関する意見交換

・テーマ（新年度予算・連携中枢都市圏）についての説明

【中川俊一総務常任副委員長】

続きまして、本日のテーマ「新年度予算について」と「連携中枢都市圏について」に移ります。ここからの進行は高委員長が行います。

【高誠総務常任委員長】

テーマに関する意見交換の進行を務めさせていただきます。総務常任委員長の高誠でございます。よろしくお願いいたします。

皆さんと意識や情報の共有を図ることを目的に、現在、議会として把握している情報をもとに、説明資料を準備しました。「平成28年度当初予算のあらまし」という資料と、「石川中央都市圏における連携中枢都市圏の形成について」という資

料の2つを御用意させていただきました。説明は、この順番で続けてさせていただきたいと思います。

「平成28年度当初予算のあらまし」では、平成28年度予算の中から、主に、市民の皆様の生活に関連する内容を中心にまとめています。

「石川中央都市圏における連携中枢都市圏の形成について」では、これ自体を初めて聞かれる方もいらっしゃるかと思いますので、どういったものかをお知りいただくことを第一に、基本的な説明を中心にまとめています。

なお、お手元に配付した資料は、スライドの資料と同じものです。見づらい場合は、お手元の資料を見ながらお聞きください。

説明は総務常任委員会の山本由起子委員がおこないます。

[山本由起子総務常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙に基づき説明]

・市民との意見交換

【高誠総務常任委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまより、意見交換を始めるに当たりまして、いくつかお願いしたいことがございます。

1番、発言を希望する方は挙手をお願いします。私が指名しましたら、係員がマイクをお持ちしますので、意見を述べる前に、お住まいの町名とお名前を言ってから、発言をお願いいたします。また、できるだけ多くの方の御意見を伺いたいので、できるだけ端的にまとめて発言していただくようお願いします。

2番、今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合は、意見交換会終了後にそれぞれの議員に対して質問されるようお願いいたします。

3番、本日の意見交換会の内容は、後日、金沢市議会のホームページに掲載いたします。皆様方からいただきます御意見につきましても、お住まいの町名、お名前とともに掲載させていただくこともございますので、あらかじめ御了解をお願いいたします。

4番、冒頭でも御説明しましたが、この意見交換会は、きょう御参加の市民の代表である議員と、皆さまの意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けることを目的に実施しています。制度の説明や解説をして、制度に対する御理解を賜りにきたわけではないということを御承知いただき、あくまで、市民の皆さんから意見をいただいて、執行部への政策提案を行うための、建設的な意見をお願いしたくよろしくようお願いいたします。

最後に、会場の都合もあり、また、進行具合によりましては、途中で意見交換の時間を打ち切らせていただく場合もありますので、誠に申し訳ございませんが、あらかじめ御了承ください。

それでは、本日のテーマについて御意見がございます方は、挙手をお願いいたします。

【参加者】

ちょっと新年度予算についてお伺いをしたいんですけども、まず、第二庁舎の建設とあって、これに大きな費用がかかるところでもあるんですけども、ちょうどこれを建てようとしているところの下、森本・富樫の活断層が通っているところですね、そのあたりを考えているのかどうか。

もう一つ、2次交通システムについてですね、L R Tが既定路線のように話が進んでいる印象があるわけですけども、安全な地下を通すことについて、私以前にも言ったことがあるんですけども、L R Tをつくるとなれば、道路にそんな広さがあるのかどうか。狭い道路にL R Tを通すとなれば、例えば道路の真ん中に島をつくるようなものでですね、そこまで余裕があるのかどうか。そして、L R Tをつくったとして誰が使うのかと考えればですね、お年寄りしか使わないと考えれば、防災などから見ても、そういうふうを考えれば、安全な地下を通すものを考えるのが良いのではないかと思うんですけども。

【高誠総務常任委員長】

ありがとうございました。

第二庁舎の下に森本・富樫活断層があるが、大丈夫かということでした。ここしばらくでも、大きな地震が2つありましたし、執行部も当然それらを踏まえて進めているところであるわけですけども、今お話のあったことも確認していきながら、やっていきたいと思います。

交通システムのお話もありましたが、決してL R Tありきで進んでいるということではございません。いろいろ議論しながら、どういったものかということを含めまして、決まっていくことになると思いますので、御理解のほうをよろしくお願いいたします。

【参加者】

例えば高度な医療・救急サービスの提供というのは、結局、中心部である金沢でできると思うので、そういった場合、ほかのまちからは金沢市を利用されると思うんです。予算的に金沢が負担する形になるように思うんですけども、金沢だけはちょっと何かデメリットと言ったら失礼なんですけれども、金沢市だけが負担するようなイメージを思っていたんですけども、いかがでしょうか。

【高誠総務常任委員会委員長】

金沢市にとってメリットがどうなのかということでありますけれども、いわゆる生活圏や経済圏のボーダレス化が進むと思いますけれども、行政区域にこだわ

ることなく圏域全体で成長を考える時代だと我々も思っております。

今後、急速に進む、少子高齢、人口減少社会に向けてはそれぞれの市・町の個性や魅力を尊重しながら相互に連携し、補完し合うことがまず金沢市を含めた圏域の発展、ひいては金沢市の発展につながるという考えを持っておりますので、そういったメリットだけが全てではないということも含めまして、ひいては金沢市、そして圏域の発展につながるということでの取り組みであるということで、御理解をいただきたいと思っております。

【参加者】

そういった場合、負担は金沢が持つんですか。例えばこの高度な医療・救急サービスだけで見ると、もし金沢市の病院をほかの都市の方が使った場合は、負担は金沢市だけが見るのか、ほかのところからも予算をいただけるのかというのをちょっとお願いできればと思います。

【高誠総務常任委員会委員長】

この取り組みにつきましては、特別交付税として圏域全体で約1億2,000万円程度、各市町においても1,500万円程度の措置があるということもありますので、金沢だけが全部負担するというような、そういった偏りはないということの御理解もいただきたいと思っています。

ほかよろしいでしょうか。

【参加者】

また、いいですか。今の連携という問題についてですけれども、今回の熊本地震でもありましたように、各地方から応援の方が、金沢市役所からも行かれましたし、輪島市役所からも行かれました。考えてみると、もうごった返して食料も住むところもないというところへ支援といいながらたくさんの人間を送り込んで、果たしていいんだろうかという問題ですね。

むしろ向こうでお荷物といったらちょっと語弊がありますがけれども、大変なお手数がかかる身障者の方ですとか病人の方ですとか、そういう方を逆に県外へ搬出すると。それを各自治体が全部引き受けるというようなことのほうがよっぽど役に立つんじゃないかなと思うんですね。重篤な方は当然隣接県で、余り輸送に問題がないようなところをお願いすると。また、軽度の方は例えば北海道でもいいですからそこへやっていく。当該の県を除いて46都道府県が10人ずつ引き受けたとすれば約500人。今、問題になっている人数が全部解決すると思うんですね。だから、そういう支援の仕方であってもいいと思うんです。

ですから、特定のところと何か連携するとかなんとかいってお互いに交流しました。やれお祭りの何とかがありましたとかというよりも、やっぱりオール日本の形で全部のほかの都道府県が引き受ける、市町村が引き受けるということのほうがよっぽど連携になると思うんですね。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

今ほどの回答になるかわかりませんが、5年前の東日本大震災がありました。これまで全体でカバーし合おうと連携はとれていたんですけれども、東北全体がだめになったというケースを踏まえて、北海道・東北・関東ブロック、中部ブロック、近畿・中国ブロック、四国・九州ブロックの4ブロックに対して応援するため、中核都市47市ありますけれども、それを6チームに分けて、金沢市もその6チームの一つに入っております。その都市、その都市で協力というか連携を深めながら、災害がそれぞれあったときには協力し合おうということで、6チームとも毎年そのチームで取り組みを行っているところでありますし、今ほどの金沢市も応援で結構行かせていただいています。これは今、ちょっと記憶が定かじゃないですけど、北九州市を窓口にして、どこにどれだけのどんな人材が必要かということを確認して送り込んでいるところであります。

金沢市がとりあえず行けということで行っているわけではありませんし、そういった東日本大震災を教訓にして取り組む中で、今であれば九州の都市を幹事として、そこを窓口にして必要な人材を今送らせていただいております。

よろしいでしょうか。

【参加者】

そういうことよりも、いわゆる在宅勤務じゃないですけども、いわゆる罹災証明の発行がおくれているとかであれば、例えば金沢市で仮に発行するというぐらいのことがあっても、今はパソコンで全部つながってますから難しいことはないと思うんですね。実際の判定を金沢市でやれというのはこれは無理でしょう。だから、そういう人たちは行かなきゃいけないでしょうけれども、あと事務的なこととかというのは全部、それこそ日本全国のどこが分担するのかわかりませんが、そういうような形で支援すれば、現地がごった返すことは少なくとも今よりはなと思うんですけども。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。貴重な御意見ということで受けとめさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

【福田太郎議長】

御苦労さまです。ちょっと、認識が違うところがあるので御紹介しておきます。

まず、市など地方公共団体から出るボランティアで行く方、また、今、一般的に行っている方、食料、水、寝袋、寝るところ含め、全部自分で確保しています。

関西の大地震のときの教訓なんですけど、当時、ボランティアに行って、きょう、どこへ泊まればいいですかって、そんな方がおいでたんです。今の九州の地震では全く一人もそんな方はおいでません。自分で食べ物、水、寝るところ、全て準

備して行っているのが今の現状のボランティアです。

金沢市は、大分前から市営住宅を既に30戸あけて待っています。いつでも来てくださいということであけていますが、現地の方はなかなかね。やっぱり地元におりたいという方が多いんですよ。多分全国の市町村や県でやっていると思います。県営住宅も多分あけていると思います。まだおいでてませんけども、金沢市はもう既に30戸の部屋をあけて待っている状態です。

ただ、東日本大震災のときにはかなりかわって来られた方もおいでました。やはり親戚が金沢においでるとか、兄弟が金沢に住んでいるとか、そんな方が来られましたけれども、現実なかなか引っ張ってくるわけにいかないんで。ただ、金沢市は30戸の市営住宅をあけて待っていますので、その御理解をお願いします。

【参加者】

認識が違うのかはわかりませんが、実際にはそういう行き当たりばったりで行っている人もいますよ。見るに見かねて、ここに泊まったらということで泊めているということは聞きます。

【福田太郎議長】

そういう方もおるかもしれないですけども、市の職員や県の職員にそんな人は今はいませんよ。

【参加者】

だから、それはいけませんよというのは、わからないでしょう。

【福田太郎議長】

いえ、いません。それはいけませんよ。自由にボランティアに行っている方もおいでるかもしれないですよ。でも、ちゃんと組織立って行っている方はそういう人はもう今現在いませんから。もちろん金沢市の職員もいません。

【参加者】

市の職員がそんな行き当たりばったりで行っているとは誰も言ってませんよ。

【福田太郎議長】

市の職員とおっしゃったので、私はそのように申しあげました。全国から来る民間ボランティアについて、そこまで私もちよっと管理してませんよ。でも、ほとんどそんな人いませんよ。

【参加者】

災害でごった返しているところにボランティア、ボランティアって現地へ行くんでしょけれども、そういうふうに行って、かえって混雑するのは問題だと言っているんです。

【福田太郎議長】

熊本地震ではすぐにはボランティア募集しなかったでしょう。大分落ちついてからやったんです。

【参加者】

もう一つ。地方から行ったボランティアの方が一生懸命がれきや何かを片づけています。現地の人は何をされているかといったら、お風呂へ入るのに2時間待っている。食事をもらうのに2時間待っている。そんな暇があるんだったら、まず自分たちで何でやらないかと思うんですね。テレビなんかを見ていて、おかしいなと思うという話です。

【高誠総務常任委員会委員長】

御意見ありがとうございます。

金沢市の取り組みとしましては、私が申し上げましたとおり、しっかり必要な人を送り込んでいるということ。

全国の民間、個人で行ってる人は掌握し切れておりませんので、御理解をお願いいたします。

そのほかいかがでしょうか。

【参加者】

予算についてなんですけれども、ちょっと内容を大まかにぱぱっと説明されたのでよくわからなかったんですけれども、まず大手町の夜間急病の施設を移転するというので、これに関しては場所的に大手町というのは非常に便利な場所で、ここを離れるということに対するデメリットはあるのかどうか。老朽化しているということでの移転なんだろうけど、その跡地も含めてどういうふうな活用を今考えているのかちょっとお聞かせ願いたいということなんです。

もう一つ、美大ですけれども、現状の美大も旧県庁の後からつくったんですけれど、これがまた移転ということで、耐震の問題で移転するんでしょうか。それともそれ以外の問題があるのか。ちょっとニュース等をしっかり把握してなかったもんですから、いま一度教えていただきたいなということなんです。

それから、中央都市圏につきまして、今、金沢市を含めて6市町、72万人ということでしたが、一つはこれ以外は受け入れないということなのか。例えば、お隣のお隣、能美市とか川北町とか小松市まで含めたりはしないのか。あるいは先ほど県外でもいいということでしたが、特に金沢とかかわりのある小矢部市とか高岡市も含めた領域まで見据えているのか、あるいはそこら辺がある程度入れてほしいといった場合にはこれは入れられるものなのかということなんです。

それと、内容を見ると今のところまだ予算が推進費だけの270万円で、ビジョンの推進費しか入ってないんですけれども、いろいろ盛り込み過ぎているんじゃないかと。先ほどから話が出ていますように、防災とかそういった部分に特化してもいいんじゃないかなと。そこら辺をきちっとして、観光とか国際会議とかというのはその後でもいいんじゃないかなということ、優先順位をつけてやっていただきたい。当然大きな予算ということになれば、各市町合同で大きな予算を組まなきゃいけないということになると思いますので、そこら辺はちょっと順次、準備をしてほしいなというところがあります。

それからもう一つ、県とのかかわりです。かなり大きくなってくると県と重なってくる部分があるんじゃないかなということ、よくある例えば神奈川県と横浜市とか、静岡県における静岡市とか浜松市、政令指定都市と県との自治体同士の縄張りだとか、けんかといったらあれなんですけれども、そういったのはよく見聞きします。例えばお隣の富山県でも富山市がかなり大きく、金沢市に負けなぐらいの人口で45万人近くいるんですけど、そのためにかなりの町を合併した影響もありまして、県との仲があんまりよくないというふうに聞いておりますので、県とのかかわりですね。そこら辺もちょっとお聞かせ願いたいなというふうに思っております。

それから最後に、人口の問題で、平成52年には6万人ほどギャップが出るということで、これを出生率のアップと定住で賄い切れるのかということ、どっちかという移住してくる人よりも出ていく人をどう抑えていくかということのほうに大事じゃないかなというふうに思うんですけども、そこら辺のビジョンについてももしあるのであればお聞かせ願いたいなということです。

以上です。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。6点あったと思います。

夜間急病診療所について、市民福祉常任委員長のほうから。

【源野和清市民福祉常任委員会委員長】

市民福祉常任委員会の委員長をさせていただきます源野と申します。

先ほどの御質問でございますが、本年度、当初予算に計上されたのは、まず救急夜間診療の実施設設計ということで、今年度すぐつくるわけではなくて、まずどのような機能をどのように運営していくのかということから建物の仕様を考える段階でございまして、まだそういう建物、そのまますぐ移すというわけではございません。

金沢市の重点戦略計画によりますと、平成28年度から30年度の3カ年の中でこの計画を遂行していくということで、むしろこの話に関しましては事業計画の元年ということで、これから話が出てくるものと承知しております。

今年の1回目の常任委員会では、その跡地利用の話どころか、今これから始まりますという報告で伺っているところでございます。

以上でございます。

【高誠総務常任委員会委員長】

源野委員長、ありがとうございました。

次に、2点目、美大についてですけれども、なぜ移転かということですが、全国に誇る卒業生もおりますし、今、どんどん県外からの入学も多くあります。端的に言うと、耐震がなされてないし、手狭であり過ぎること。老朽化も含めてというのがまず第一義でありますし、地元である議長、何かそれ以上

に何かありますか。大体その3つだと思いますが。

【福田太郎議長】

そのとおりです。美大に最近行ったことがありますか。行ってないですか。古いですよ。耐震化が全部だめなんです。今の生徒がつくるものというのは、全国的に結構大型化しています。置く場所もないので廊下に全部つくったものを置いてあるんですよ、廊下に全部。それもあんまりですし、それでさらに耐震がだめだと。手狭なんで、工学部の跡地が土壌も全部きれいにでき上がりましたので、これは市長も知事も議会で言っていることなので言っていると思います、金沢市は美大を移転し、県は図書館を建てると。それは議会でも言っているの、そういう方向になっています。

美大の跡地については県と市と国と何かといろいろあるようなので、そこまでちょっと私らはわかりませんが、耐震がだめなのと、老朽化したのと、手狭なので移るということでして、一応これは発表になっています。まだ予算化されてませんし、今からの話なんですけれども、移転は決定しています。

【高誠総務常任委員会委員長】

続きまして、連携中枢都市圏で、富山の小矢部市や高岡市も入ってこれないのかという件につきまして。

【福田太郎議長】

知っている限りで言います。

連携中枢都市圏は先ほどちょっと出ましたが、国としては県境を超えてもいいということになっています。

金沢市は今のところ考えてないようですが、我々議会は、同じものを4市2町でやっているんです。議会としては南砺市とか小矢部市とかとも今後やっていけばどうかというところまではありますけれども、まだそこまではいってない。一緒にやればどうか、というのはあるというので報告しておきます。

市は全くまだないです。

【参加者】

南のほうはどうですか。

【福田太郎議長】

南は今のところ考えないです。ちょっとまた圏域がですね、小松を中心にして結構やっているところなんで、何かそんな雰囲気的にあんまり。野々市までは結構我々と仲いいんですけど、能美市まで行くとちょっと小松のほうに近いんで、あんまりそんなのですね。

【高誠総務常任委員会委員長】

戻りますけれども、大手町という場所のメリット、デメリット、特にデメリットについてですけれども、今ほどもお答えいただきましたけれども、中心部からちょっと外れる駅西ということでもありますけれども、やはり車社会でありますし、

今、大手町は本当に手狭というか数台しか駐車場所がないということもありますので、そういった観点からすればやはり駅西の、駐車場多いところ、広いところということのメリットを優先することも踏まえての移転の計画であるということでもあります。

あと、5点目ですけれども、石川県と金沢市との関係について、ほかでは仲が悪いところもあるが、というお話でしたけれども、個人的にそうではありませんというのも変ですけれども、お互い協調し合い、努めているところだと私は認識をいたしております。

最後、定住について、ビジョンということもありました。出ていく人を防ぐ、そういった策ももちろん講じておりますので、4市2町で意見を出し合いながら努めているところでもありますので、来ることだけを望んでいるわけではありませんし、やはり今住んでいる人や、UJIターンも含めて努めているところでもあります。

御理解のほうをよろしくお願いいたします。

中央都市圏に予定を盛り込み過ぎじゃないかということもありましたけれども、たくさん出ましたけれども、順番に一つずつ精査して実行に移していくというところの確認をいたしておりますので、御理解をよろしくお願いいたします。

【参加者】

優先順位をつけるのは議会の仕事だと思いますので、だから限られた予算の中でどういう順序にするかというのを決めていただければと思います。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

順番に計画もありますので、よろしく申し上げます。

そのほかいかがでしょうか。

【参加者】

当初予算のあらましの中の家庭ごみの有料化制度に係る説明会を順次開催しているんですけれども、この有料化のスケジュール、やるのかやらないのかも含めて、市としてはいつまでにこれをやりたいのか。

それから、地域の住民としては、当町会もごみのステーションを、全て地域の班長がやっているわけですよ。だから、この有料化によって何がどう変わるのかというところを説明いただけないかなと。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

これまでも多数の議論をさせていただいておりますけれども、所管しています長坂経済環境常任委員長からよろしく申し上げます。

【長坂星児経済環境常任委員会委員長】

御意見ありがとうございます。

まず、今のスケジュールについてでございますけれども、今、この有料化の問題に対しまして、議会の中でもそれぞれの立場で意見を交わしながら導入の是非も含めていろいろと話をさせていただいているところであります。

ただ、今、執行部としまして、行政でこの説明会等を開催させていただいております。先日の委員会でも私たち議会のほうから、今どういった状況になっているんだというようなことを執行部に問い合わせといいますか、話を聞いていたところであります。

そのときは、今、9ブロックに分かれている中、7ブロックまで説明会を実施しましたよと。それから、これから各校下に対しまして説明会をそれぞれ順次開催をしていきたい、というような話を執行部のほうから伺っております。

それについて導入がいつなのか、スケジュールがいつになるというのは決まったわけございませんし、議会の立場としてもまだそういったことに対していろいろと議論をさせていただいているところであります。

スケジュールに対しては以上であります。

【参加者】

有料化によって地域住民は費用を負担して、何かサービスが変わるのかということ。我々はごみネットやステーションを管理しているわけだけでも、やっぱりカラスに狙われたり、いろんなことがあるんです。ネットをつけていろいろやっているけれども、後始末を全部やらなきゃいけないわけです。全部ですね、回してやっているわけで、費用だけ負担させて、行政としてのサービスは何か変わるのか、どうそれを世話するのかという、そのことに対してちょっとお答えをいただきたいと思います。

実施時期は未定だということだから、有料化にすると幾らぐらい負担をして、その見返りの行政のサービスがどう変わるのか。何にも変わらなくて、費用だけを負担しろというのかどうか。

【長坂星児経済環境常任委員会委員長】

今、この有料化ということに、結論がいろいろ出たわけでありませぬけれども、ただ、行政のほうで、この有料化を進めるメリットは何かというような説明の中で話がありますのは、有料化することでまずごみの減量化を進めることができるだろうということ、次期処理場につきましても満杯になる時期を少しでも確保することで、今後、市民にかかってくる大きな処理場の建設等の負担を軽減していく。そういったことが市民の皆さんにとりまして返ってくるメリットになるのではないかなというふうに思いますし、また、幾らかお金がかかるわけですがけれども、この有料化に対して徴収されるもの、それをどういったものに活用していくかというのは、例えば皆さんお使いのごみステーションに対する維持管理、そういったものに対して充てていくことも検討しているという行政からの説明を受けているところであり、議会としましてはやはりきょう、こうやってお話をいただ

いておりますので、そういった思い、自分たちの町会がどうなっていくんだというような話を今この場も含めて頂戴いたしまして、委員会とまた議会の中で行政と話をさせていただければなというふうに考えております。

【参加者】

どこかわかりませんが、自治体の中ではごみを夜出させて、夜回収する。鳥は夜は活動しませんから非常にその管理はいいと。夜、ごみを回収していたところは被害がないので、ステーションが非常にきれいに保てるということもありますので、そういったことも検討して、この有料化とあわせて回収の時間を夜間にするというのも、我々の町会では要望してほしいというような意見もありますので、この場でちょっと申し上げておきます。

【長坂星児経済環境常任委員会委員長】

貴重な御意見として承らせていただきます。ありがとうございます。

【参加者】

連携中枢都市圏構想なんですけれども、御説明があったように必ずしも合併して大きくするというのが正しいとは私も思ってなくて、ある程度の大きさの自治体が地域的なまとまりを持って個性を出すというのが基本的には正しいんじゃないかと思うので、こういう周り連携してやっていくというのは必要なことだなと思うんです。合併してしまうと市議会も一つになりますし、意思決定という意味では非常にはっきりしてくると思うんですが、連携ということだとそれぞれの市・町があって、それぞれが独自に行政をやっているし、決定権を持っている中で、連携といういろいろな意見を出し合って協力してやっていくという形をとるので、なかなか決まりにくい面もあるんじゃないかなと思うんですけれども、連携していくときの意思決定システムとか、先ほども、県をまたぐときにはどうするかということがあるんですけれども、いかにして迅速に、効率よく意見集約を図って進めていこうとされているのかという点で、何かお考えがありましたらお願いします。

【福田太郎議長】

今おっしゃったとおり4市2町ですから、6つの行政があって6つの議会があるわけです。今できた法律で連携しましょうと各6つの首長が決めても、各6つの議会にかけて承認をもらわなくてはいけないこととなっています。それは仕方ないのですが、スピーディに物事がいかないのではないかと御意見じゃないかなとは思いますが、それも確かにあると思うんですよ。例えばさっきの夜間小児医療の話は、小さな子供ってすぐに夜に熱を出したり、おなかが痛いって言うんですが、運べる場所は金沢市しかなかったんです。金沢市に1カ所だけあって、高度医療は内灘町は大きな金沢医科大学附属病院もありますし、白山市は昔、郡中っていいましたけど、大きい日本でも有数の病院を持っていますので、それはあんまり心配しないんですが、本当に夜間に子供を運ぶところについて、

金沢市は大手町があったんですが、あとは全部ないんです。それはみんな困っているし、何とか回して回してやっていただいたんですが、金沢市も小児科のお医者さんがいなくて困っているんですよ。それが今、一番最初に動きがあって、共通でそんなものがほしいということです。さっき少し高委員長からも話がありましたが、大手町では車をとめられないので駅西の福祉健康センターを、本当に改装するだけなんです。駅西の福祉健康センターの2階のプレールームみたいなものがあったけど、それをちょっと簡単に改装し、それと南と北から8号線が通っていますから来やすいと。夜なら1時間も走れば、津幡町といっても今は30分ぐらいで行けますから、皆さんの共通項が一番早いものがまとまったと。金沢も一番困っていたのは小児科医者さんがいなくて、一番困っていたんです。

津幡町も白山市も内灘町も、少ないけれども、1人や2人ぐらいなら出ていただけますよと。それと金沢市のお医者さんと足して、じゃ、やりましょうと。わかりやすく説明するとそういうことで、全ての議会でそれは通りましたが、市も町もおっしゃるとおりいろんな立場があります。今から認識を常にして、やっていかなければいけないなと思っています。予算もありますけど、これ国からも予算が来ているんです。金沢市さんはリーダーだからこのお金を預けるからちゃんとしなさいよと。そういうので一つ一つ優先順位を決めて、大事なものからやっていこうと議会は思っていますので、またよろしくお願ひしたいと思います。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

そのほかいかがでしょうか。

【参加者】

先ほどから何かすばらしい意見が出て圧倒されています。

連携中枢都市ですが、初めて聞く話でまことにすごい話になると思っておるんです。

うちもタケノコ農家をしているもんですから、着目するのは、この地場製品の生産、販路、消費拡大ということなんですけど、JAあぐりの方も頭を痛めていることを書いていただきました。こちらは野田支店とか松原のほうまで出しているんですけれども、こういった商品は足が早くて、売れ残ると大変なことになっちゃうので、先ほども話出ました高齢の人たちは車に乗れない人もいますので、いろんなところにポイントを設けていただいて、いろんな商品を購入できるような仕組みをぜひともつくっていただきたいなところ思っておりますので、よろしくお願ひします。

【高誠総務常任委員会委員長】

販路拡大という要望、熱望ということで。

【参加者】

それによってもっともっと広くやっていただきたいと思います。

【高誠総務常任委員会委員長】

貴重な御意見ありがとうございました。

また反映できるように御意見としてはお受けいたしたいと思います。

そのほかいかがでしょうか。

【参加者】

観光の推進ということに関しまして、経済が潤うというメリットがある反面、建物でありましたり文化財に対しての悪いマナーといたしますか、そういったところのデメリットも考えられると思うんですけど、それに対する具体的な取り組みであったり対策があればお伺いしたいです。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

具体的な対策ということで、人が大いのにぎわえば、例えばごみとかのポイ捨て、全国でも世界でもどこでもあることだと思います。文化財に傷つけたとか落書きしたとか含めて、マナーの問題は世界も日本も問題となっておりますし、金沢市においてはひがしかいわいや駅前、駅西も含めて、文化ゾーンのところの、ポイ捨て禁止の区域を兼六園周辺も含めて条例としてどんどん拡大しておりますし、啓発する警備員も常備してマナーの向上といたしますかそういった取り組みをさせていただいておるところであります。

そのほかいかがでしょうか。

【参加者】

市議会のあり方について意見を申し上げます。

大体年間100件近い議案や請願とか、そういったものも含めてありますけれども、8割が市長提案、議員提案は15%ぐらいで、これも二桁になったというのはここ2年間ほどのことだろうと思うんですね。38人もの真に非常に市政に関心を持ってる方がいらっしやって、余りにも少ないんじゃないかなっていうことです。

それからもう一つは、市長提案のうち8割ぐらいが全会一致で承認されているという事実。これは市長の手腕を褒めるべきなのか、あるいは議員の方々のかい性なさというか、そういうものを問題視すべきなのかわかりませんが、そういうことではやっぱり何か俗に言われている単なる市長の追認機関だというような陰口を聞かれてもやむを得ないと思うんですけども、皆さんはそれについてどのようにお考えでしょうか。

【福田太郎議長】

まず、議会は追認機関じゃありません。全く違います。

それと議案についてです。条例案についてですけど、ちょっと言い方が難しいんですが、執行部は3,000人の職員をもってして条例案を出してくるわけです。我々はその前に当然見えています。個人的に違いますけど私がもし個人でこの条例はおかしいと思ったら私はもちろん反対します。ただ、ほかの議員さんはわから

ないですけど、何割かは全部可決だと言われますけど、まともなものが出てきたら私たちは可決をします。私個人でこれはいかがなものかなど、これはおかしいのではというものが出てきたときはきっぱり反対をしますし、多分38人の議員一緒だと思います。

それと、議員提出ですが、現実、提出は何でもかんでも議会が出せばいいというものでもないんですよ。現実には、そんなたくさんもないんです。ただ、これ、これ、これというときには出しています。今言われたとおり、二、三年前までは長年なかったのも事実ですよ。本当に、ほとんどなかったです。若干の改正はありましたが、議員提案で出した条例というのは3年ぐらい余りなかったのは事実ですよ。ただやはり、ここにいる議員さんも皆さん含めて、やっぱり出すべきものは出そうと、しっかりしたものは出していこうということで今は出しています。

ただ、執行部から出てきたものとすごく似てる場合もありますし、御存じかと思うんですが、一番直近の大きなもので、食文化条例が議会に出したもので一番近いかなと思うんですけど。食文化条例は、食べ物とか器とか金沢の食文化とかをしっかりと継承して守っていこうという条例なんですけど、あれは全部議会として出させていただきました。そういうものは我々は出しますしいいのですが、大体執行部から出てくる中で、我々もこれは説明を聞いたらいい条例だから、これはいいねということで賛成しているんです。あえてそれに対案は出す必要もないですし、いいものならいいし、よくないものはよくないと、はっきり議決をしています。

このマルを見るとみんなマルやがいやって言いますが、市長が優秀なのか執行部が優秀なのかわかりませんが、ちゃんと審議をして賛成、反対をしており、これは御理解ください。

もちろん修正をかけたものもありますよ。ここの文言を変えてください、これはちょっと変えてくださいというのはあります。それもちよこちよこあります。

【高誠総務常任委員会委員長】

では最後、よろしくお願いたします。

【参加者】

済みません。きょうは初めて参りまして、ちょっと傍聴しようかなと思っていたら余りにも人数が少なくて、その割には発言が多いなとびっくりいたしました。それで、連携中枢都市圏構想ですか、これについて総務省のほうから予算が計画費だけ来るのか、あるいは今後、お金が継続的に来るのか、ちょっと教えてほしいんです。

私が思うにはやはり定住です。最後に書いてあります人口が減るのを抑えるというお話ですが、やはり人口減少を抑えるということになれば、いかにここに若い人たちが来てくれるか、住んでくれるか、定住してくれるかということだと思います。

うんです。そのためにはやっぱり若い人の就業の場、子育て環境、それから生活環境ということだと思いますが、近隣市町で子育て環境は金沢市より非常にいいというお話も、具体的に数字はちょっと持ち合わせていませんが、聞いております。そういう意味で、この連携中枢都市圏の形成に当たって、連携して就業の場を確保したり、あるいは子育て環境をよくしたりすることは、何かあるのかなのか。

私も今初めてここへ来て、思いつきで頭に浮かびませんが、今後、この協定が見直しをされて、さらに追加をしていくものなのかどうか。あるいは目標年次がいつなのか、その辺ちょっと見えない部分が結構ありますので、またそれを教えていただきたいんですが。

いずれにしても若い人たちがこの金沢市へ住人としてここにぜひ住みたいという気持ちにならないとなかなか人はふえないし、安心して子育てできるというところでないとやっぱり人も子どももふえないということで、ぜひその辺の施策を、連携に限らず金沢市政の中でぜひ知恵を出してやっていただきたいというのはお願いします。

それから一つ、予算絡みで新しい交通システム検討調査費がついておりますけれども、今、電車は、浅野川線とそれから石川線とあるんですが、浅野川線はちょっとわかりませんが、石川線を見ていますと、非常にすいてます。金沢市も補助金を出しておられるのかちょっとわかりませんが、その分、北鉄さんも赤字になっているんじゃないかと思います。その分の運賃部分が多分バスとかほかのほうに転嫁されている可能性は当然あるわけです。

したがって、先ほど質問がありましたようにこのシステムをうまく活用して、あの辺の乗客がふえて黒字になるようなことになるのかどうか十分検討していただきたいと思います。

その2点です。

最後に、ちょっと時間をオーバーしましたがけれども、今回初めて出席をさせていただきました。余りにも少なさに非常に驚いています。私はチラシを見て来ました。年間何回あるかもわかりません。ちょっと情報がありません。この辺のPRをどういうふうにしたほうがいいのか、もうちょっと御検討願いたいと思います。これではちょっと特定の人意見になってしまいます。年間あと何回やるのか、私も情報をまた教えていただきたいんですが、もう少し多くの人が集まれるような時間帯、日にち、あるいはその工夫をぜひしていただきたいと思います。非常にいい機会だと思います。こういう機会持っていただいて非常に感謝いたします。

ただ、平成26年からでしたっけ。私知りませんが、大変不勉強で申しわけないですが、ただ来てみて非常に少ないのにちょっと驚きました。ぜひ御検討をお願いいたします。

以上でございます。

【高誠総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。3点の質問、御意見ということです。

1点目ですけれども、連携中枢都市圏について、金沢市以外のほうが子育て環境がいいがないかというそんな話もありました。もちろん先ほども申し上げましたけど、やっぱり持続可能な形で行政サービスを提供していくという議長の話でもあります。自治体のいいところ、悪いところをカバーし合い、尊重し合い、連携し補完し合うということがまず第一義でありますし、金沢市の発展、圏域の発展というこの御理解をいただきたいと思います。

若い人の子育てですが、金沢市も他都市の例を見ながら、いいところ、悪いところを確認しながら、財政も含めて工夫をいたしているところでもありますので、その辺の御理解もお願いしたいと思います。

2点目、LRTですけれども石川線、浅野川線のこともありました。金沢市も補助金を出しておりますので、そこは御承知いただきたいと思いますし、今まさに高齢化で免許返納されていく方もどんどんふえていくということもありますので、市民の足にとってということで、御意見としてしっかり検討していきたいと思っています。

最後、3番目、参加者が少ないということですが、これで3年目であります。平日の夜や土日の日中の午後開催もしておりますが、今回これだけ少ないということです。ホームページや新聞、議会広報も含めてさまざまな発信をしているところでもありますし、それ以外にも公民館、町会での班回覧という形でも回っていると思いますが、これだけじゃ寂しいということの御意見は重々承知しております。今年度はあと4回の開催を予定しておりますので、またさまざまな広報活動にPRにしっかり努めていきたいと思いますので、きょうは貴重な御意見をありがとうございました。

それでは、時間のほうも参りましたので、市民の皆さんとの意見交換はここで終了させていただきたいと思います。

受け付けの際に配付させていただきましたアンケートが入っておりますので、今ほどの御意見等も、何でも結構ですので今後の運営の参考にさせていただきますので、アンケートのほうをぜひ御記入の上、受付でお渡しいただきたいと思います。

また、次回の意見交換会は7月25日月曜日の午後7時より粟崎の金沢市ものづくり会館におきまして「金沢の農業と森づくりプラン2025」についてをテーマに開催をいたしたいと思いますので、お時間の都合をつけてぜひこちらのほうにも足を運んでいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

6. 閉 会

【中川俊一総務常任委員会副委員長】

それでは、閉会に当たりまして、金沢市議会、野本正人副議長からお礼の御挨拶を申し上げます。

【野本正人副議長】

本日は皆様方から大変多くの意見や御提言をいただき、本当にありがとうございました。皆様の御理解と御協力のもと、活発な意見交換会が行われたことと思っております。心より感謝を申し上げます。

本日のテーマは、新年度予算及び連携中核都市圏ということでありましたが、一見すると非常に難しそうな話ではありましたが、市民生活に密接にかかわる非常に大事なテーマであります。いただいた御意見、御提言を全て反映していくというのはなかなか難しいことかもしれませんが、議員一人一人が真摯に受けとめ、その実現のため方策についてしっかり議論を交わして、一つでも多くの市政に反映していきたいと思っております。

今後とも忌憚のない意見をお寄せいただき、市民の皆様とよりよい金沢市政をつくってまいりたいと思っております。

最後になりましたが、本日は遅い時間に皆様方、お疲れのところ御参加していただき、本当にありがとうございました。(拍手)

【中川俊一総務常任委員会副委員長】

それでは、これで意見交換会を終了いたします。

本日はお忙しい中御参加いただき、ありがとうございました。(拍手)

以 上